

姫路城 菱の門 特別公開

内部

平成29年1月21日(土)~3月17日(金)

時間 / 9:00~17:00 ※入城は16:00まで

場所 / 姫路城入城口すぐ ※見学には姫路城の入城料が必要です。

城

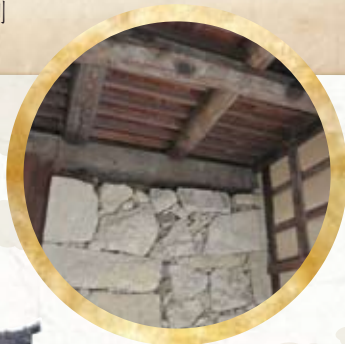
にとって「門」
は、曲輪(くる

わ)への出入り口であり、敵からの攻撃を受けやすい弱点でもあります。一方、防御機能を備えた門をうまく配置することによって、天守への進入を阻む役割を果たしました。

姫路城には、21の門が現存しており、櫓門、高麗門(こうらいもん)、棟門(むなもん)、埋門(うずみもん)といったそれぞれ特徴を持った門があります。一見するだけでは気づきにくい防御機能や装飾による格式の演出など、独特の工夫が施されています。

菱の門は、姫路城の正面玄関にあたる城門で、城内で最も格式が高い門です。国指定重要文化財の一つですが、姫路城の一般公開が始まってから約100年。はじめて、菱の門の内部を公開します。その昔、菱の門はどのようなに使われていたのか、城内のガイドにより、その役割や歴史的背景などを説明します。武士の時代の情景を思い浮かべることができるスポットとして、どうぞお楽しみください。

築城当時の様子を体感
ガイドによる説明もあり



初の内部
一般公開